

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林貴彦
		全体計画						経費区分		-		内線	3612
事務事業名	6730 小学校国際化教育推進事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	12010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費											
	事業	030000 小学校国際化教育推進事業											
事業目的							事業概要・効果						
児童が外国語を通して、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていく。また、外部講師による研修を行い、教職員の外国語活動指導能力を高めていく。							児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てていけるように役立てる。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		10,638	10,618
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,638	10,618
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	629.8	629.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	629.8	629.8
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,267.8	11,247.8

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	60	小学校外国語活動講師謝礼
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,578	英語指導助手委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	40	外国語教育指導計画策定アドバイザー謝礼
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,578	英語指導助手委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深めるために必要不可欠な事業。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	児童が直接外国人に接することで、外国語の音声や基本的な表現に親しみ、コミュニケーション能力が育てられている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受託先と長期継続契約を締結しているため、経費は変わらない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
児童が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めていけるよう事業を進めた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ALTによって授業に差が生じないように、授業づくりの改善に力を入れていく		ALTの派遣、指導主事による指導助言、アドバイザーによる教員研修等、小学校英語教育に積極的に取り組むことができた。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	